

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	持田 田村
	全体計画						経費区分		-		内線	3254
事務事業名	4129 狂犬病予防対策事業											
所 属	140100 環境部・生活環境課											
施 策	03011100 環境を守る活動の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費										
	事業	060000 狂犬病予防対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
飼犬の狂犬病予防注射の実施を確実にいき、狂犬病の予防に努める。						登録犬の狂犬病予防注射業務を委託するなど適正な飼育犬の管理を行う。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
登録頭数 2745頭 未注射犬 26頭 注射実施会場 56会場 巡回注射実施	登録頭数 2653頭 未注射犬 21頭 注射実施会場 56会場 巡回注射実施
平成26年度 実績	平成27年度 予定
登録頭数 2582頭 未注射犬 30頭 注射実施会場 56会場 巡回注射実施	登録頭数 2500頭 未注射犬 15頭 注射実施会場 56会場 巡回注射実施

指標名	未注射犬						
算式						単位	頭
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標	35	30	25	20	15	
	実績	16	26	21	30		
指標選定の理由	狂犬病の予防に努めるため。						
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		530	562
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	483	562
一般財源		47	0
人員数 (人)	正規職員	0.9	0.9
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.1	0.1
人員 コスト	正規職員	6,172.2	6,172.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	117.7	117.7
	計	6,289.9	6,289.9
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		6,819.9	6,851.9

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	94	消耗品
13節 委託費	383	長野県獣医師会委託料（犬の登録、狂犬病予防接種委託料）
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	53	須高飼犬管理対策協議会負担金
その他	0	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	426	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	56	
その他	80	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	狂犬病予防法により実施している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	須高獣医師会と連携を密にして効率よく実施している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	飼犬者負担により実施している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

須高獣医師会と連携し、予防接種の接種率を高め、狂犬病リスクをなくすことが大切。
また、飼犬の適正な飼育方法の啓発を行うことが大切。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>関係機関、利用者と連携し事業継続する。迷い犬対策として、マイクロチップの普及を検討する必要あり。繁殖制限補助の見直しも必要。狂犬病予防だけに特化しているが、動物適正飼育事業として総合的に検討する必要あり。</p>		<p>法定の定型事務であるが、市民の安全には不可欠な事業である。所与の条件の中で工夫し事業効果を上げる必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	